

チームで築き上げた11の提案

～第4回学習会 活動報告～

2024年11月10日(日)

滋賀県

子ども県議会

事務局発行 / No. 10



子どもたちが取り組んできた提案文がついに完成しました！

これまでの努力と積み重ねを通じて、今年はなんと11の提案が仕上がりました。

提案文作成の様子

学年や地域を超えたつながり

提案文作りを通じて、学年や地域の壁を越えた会話や交流が生まれ、和やかな雰囲気の中で議論が進みました。その中でも真剣に取り組むがゆえに、時にぶつかり合いながらも、率直に意見を交わし合うことができたのだと思います。



困難を乗り越える力

作成中には、論点がずれたり、資料が不足したり、意見がまとまらない場面もありました。しかし、再度付箋を使って意見を整理したり、中学生が中心となって言葉を整えたりと、チーム全員が力を合わせて乗り越える姿が印象的でした。どのチームも、「滋賀の未来が良くなるように」と、一生懸命に考え抜いていました。(大人でも難しいことを真剣に…)



今年の提案の特徴

今年の提案文では、子どもたちの意見を最大限に反映し、全ての提案を盛り込むことを目指しました。その結果、昨年よりも1つ多い11の提案が完成。子どもたちの考えや努力が詰まった内容となっています。



▼予定されている提案文

- 【1:琵琶湖】「滋賀の象徴・琵琶湖の未来をみんなで守れ」
- 【2:人権多様性】「バリアフリースイールのあり方」
- 【3:歴史】「歴史でつながる滋賀県に 歴史体験アプリ「シガcastle」」
- 【4:環境】「ホテルで溢れ、笑顔とワクワク感に満ちた滋賀県」
- 【5:居場所】「誰もが安心して過ごせる場所」
- 【6:子ども】「Childrenシガ～守ろう苦しむたくさんの子どものを～」
- 【7:観光魅力伝統文化】「滋賀の知られざる魅力を伝える二次元コード」
- 【8:農業】「農薬減少と米の生産量アップについて」
- 【9:地域交通】「誰もが過ごしやすいバス停にする為に」
- 【10:学校教育】「誰もが過ごしやすい学校にするために」
- 【11:公共交通と地域活性】「より良い滋賀の交通～「Lake traffic tour」～」



次回はいよいよ本番に向けたリハーサル

提案文を仕上げた子どもたちは、次回のリハーサルに向けてさらに準備を進めます。リハーサルでは、発表練習や細部の確認を行い、本番に向けた最終仕上げをします。